



発行所

山形新聞社

〒990-8550  
山形市旅籠町2-5-12

総合案内 023(622)5271  
読者センター 023(622)5666  
(平日9時30分～17時30分)

(c)山形新聞社2022

2022年  
11月18日  
〈金曜日〉

電子  
速報版



特別号外

■やまがた  
ニュースオンライン  
yamagata-np.jp

■モバイルやましん  
yamagata-np.jp  
/mobile/



詳しくは山形新聞を  
ご覧ください。

# 北ICBM北海道沖に落下

【ソウル共同】防衛省は18日、北朝鮮が同日午前10時14分ごろ、朝鮮半島西岸付近から1発の大陸間弾道ミサイル（ICBM）級弾道ミサイルを東方向に発射したと発表した。岸田文雄首相は、ミサイルが北海道西側の日本の排他的経済水域（EEZ）内に落下したとみられると明らかにした。北朝鮮によるミサイル発射は2日連続。



新型大陸間弾道ミサイル（ICBM）「火星17」の発射実験。3月25日付の北朝鮮の労働新聞が掲載した  
|| 平壤（コリアメディア提供・共同）

海上保安庁はこれに先立ち、ミサイルは同日11時20分ごろ、北海道渡島大島の西約210キロの周辺海域に落下する見込みだと発表した。北朝鮮は、米本土を狙うICBMの技術

向上を図るとともに、連携を強める日米韓3カ国をけん制する狙いがあるともみられる。岸田首相は発射を受け、国民への迅速・的確な情報提供と、船舶や航空機の安全確認、

## 最新型の火星17か 来県中の元司令官

庄内県懇話会の講師として来県中に北朝鮮のミサイル発射の一報を聞いた元自衛艦隊司令官の香田洋二さんは山形新聞の取材に「最新型の火星17か、

火星15とみられる。東南アジア諸国連合（ASEAN）関連首脳会議に伴う、日米韓の首脳会談などを受けた発射だと考えられる」とコメントした。

不測の事態への態勢確保の3点を関係省庁に指示した。

米国は13日の日米韓首脳会談で日韓への拡大抑止強化を表明。北朝鮮の崔善姫（チェソンヒ）外相は17日に発表した談話で、米国が拡大抑止強化に執着すれば「正比例してわれわれの軍事的対応は一層猛烈になる」とけん制していた。

購読・試読の

お申し込みは

フリーダイヤル

0120-81-8040